大正九年十二月四日 第三種郵便物認可
新京日日新聞　昭和十二年一月三日　日曜日　第五千七號　(一)

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
郵稅 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二三五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

英の十九條存續提案
一、二月ごろ回答せん
新春早々三省間で協議續行
提案內容を再檢討

【東京國通】英國政府は十月上旬ワシントン條約第十九條の太平洋防備制限條項の存續につき日米兩國政府に提案して來たので、外、陸、海三省關係當局間にこれが回答につき愼重協議を重ねてゐたが、英國の提案內容については尙充分に檢討を要することとなつたので帝國政府としては昨年內に對英回答を發せぬことに方針を確定した、よつてワシントン、ロンドン兩條約は潛水艦使用制限條項を除き完全に失效し、日英米三國政府は一月一日より一先づ太平洋における防備の自由を回復することゝなつたわけである、しかして英國政府の提案內容は既設防備の內容を近代化する（モダナイズ）以外は同條項の效力をそのまゝ延長せしめることゝし、その形式につき日英米三國間に協議を行ひたいといふにあつて帝國政府としては今春早々新に三省間に協議を續行した上一月下旬乃至二月上旬頃對英回答を發する模樣である

滿洲國建國第二次
五ケ年に入る

國務院總務廳企畫處長　松田令輔

滿洲國はいよいよ本年をもつて建國後第二次の五箇年に入る、前五箇年は建國工作乃至その延長たる治安工作を主流として經過した 政治行政もこれに從つて動いた、いはゞ平定時代であり、あるひは統一時代であつた、經濟方面におけることも多くその意味を持つ、例へば通貨の統一といひ鐵道の建設といひ財政の整備といひ皆然りである、產業方面においても開發は行はれたけれどそれは突きつめると統一力恢復であつたともいへる鑛業然り、森林然り、農畜產業亦然りである 工業方面では個々のものについてみると實質的開發もあつたけれど未だ多くは緒についたに過ぎぬ、全體的にみると新興企業の生產は衰退せる在來企業の生產を補つて餘りあるや多分に疑がある

◇

しかるに滿洲國は廣漠肥沃の土地あり、多種豐富の資源あり、又勤勉困苦に耐ふる三千萬の農民がある、現在これを利用してゐる程度を考へると實に惜しい感がある もしこれを積極的に利用開發してゆくときは敢へて滿洲國々家人民のためのみならず大いに日滿兩國々家人民のためとなる、又かくしてこそはじめて過去滿洲の野に流された日本人の血潮は生き、滿洲國建國の意義もある しかして今日內外の情勢はそれを要求すること切、若し荏苒遷延するが如きことあらんか內憂外患は解消せず、前途まことに樂觀を許さない

◇

滿洲國が建國後第二次の五箇年に入るに當り樹てられた諸般の建設計畫、就中いはゆる產業開發五箇年計畫は實にこゝに所以するものと思ふ、すなはち今次計畫の精神は單に滿洲に在る者また來るべき者各個人が安易慰樂の生活をなさんがためのものではない 日滿兩國一體となり兩國々民一心となり臥薪嘗膽以つて兩國々防ならびに經濟上の實力を增强せんとするにあると思ふ、況んや國民一部の利益をはかりまたは國民一部のみの不利を豫期するものでは更々ない、全體一致奉公の觀念に出發せるものと考へる、計畫の內容およびこれが實現の方法は未だ公にせられないが、この趣旨に合致し又研究の上さらに合致せしめられるものと想像する 產業以外の各方面における諸計畫も直接または間接に右計畫と關聯する、交通、金融、貿易、租稅、財政その他一般行政上においても右產業計畫と大小多少の關聯をもち、計畫樹立實行の要がある、公にさるゝか否やはもとよりわからぬが彼此併行してすゝめらるゝが當然と思ふ

◇

しからば產業開發をはじめとしこれ等諸般の計畫は如何にして實現せらるゝか勿論滿洲國の實情として獨力では出來ぬか乃至は出來る程度に限りがある、元々これ等計畫自體の目的が兩國に關するものであり、また兩國の關係が特殊不可分のものであることを思へば日本の支持協力に俟つべきは當然である しかして問題は日本の力であるが、自分の考へるところではその結論は第一には氣持、第二には遣り方の如何で違つてくると思ふ、氣持といふのは國民が安易慰樂に趨くか臥薪嘗膽につくかその如何のことである 遣り方といふのは政治、經濟制度の組立、およびその運用の如何のことである すなはち國民全體がその氣持になり、國家が庶政を一新すれば出來ぬと考へられることが出來るといふ感を懷く、滿洲國の建設遂行に必要不可缺なる二大骨子、すなはち對滿移民および對滿投資の如き然りと思ふ この點兩國官民の深甚なる考慮を期待するものである

◇……牛に因んだ玩具

迎年所懷

外交部大臣　張燕卿

建國五年の春を迎ふるに當り帝國が內は年と共に各般の施政を整備して王道の國基愈々固く外は盟邦日本帝國との提携益々緊密にして列國との關係亦大に敦厚を加へつゝあるは國民とゝもに深く欣快に絕へざるところである

今試に氏外政の現狀を一瞥するに、日本帝國のわが國に對する扶掖援助は逐年懇切を加へ遂に治外法權撤廢の大業に步を進めて兩國民骨肉共存の關係は愈々强化確立せられ獨逸國とは通商に關する協定成立して兩國間貿易增進したるのみならず既に常駐代表機關交換設置の運びとなり、又中華民國との間には通商交通等の實際生活方面に於て漸次兩國間の便益の度を進めつゝあり、殊に蒙古軍政府及び冀東政府との親善共榮關係樹立せられたるは欣幸とするところである、ソヴイエト聯邦及び外蒙古共和國との間には國境において、時々不祥なる事件の發生をみ、わが外政上甚だ遺憾に堪へざるところであるが、わが國は飽くまで善隣關係の增進と東洋平和確保の見地より國境紛爭の原因除去、その他に關する各種方策の講究中であつて外蒙共和國とは既に客年十月以來代表を滿洲里に會同せしめて目下折角折衝中である、その他前述以外の諸國中サルバドル共和國、ドメニカ共和國及羅馬法王廳が曩にわが國を承認したる外客年末伊太利國も遂に我國を承認するに至り、又未だわが國を承認するに至らざる爾餘の諸國も近來頓にわが國に對する認識を是正し有力政治家中、公然わが國承認論を提唱するもの益々その數を加へつゝあるのみならず、各國ともに相爭ふてわが國との通商關係增進に腐心しつゝある狀態であつて、わが對外關係の大勢は一路極めて順調なる道程を辿つてゐるのである

しかしながら飜つて現下國際情勢の動向を察するに各國は何れも軍備の擴張と偏狹なる通商鎖國政策の强化は日も尙足らざる有樣であつてこれがために益々國際不安を增大せしめつゝある一方、世界共產主義の魔手はこの間隙に乘じて着々その破壞陰謀を進めつゝありて實に寸刻の偸安をも許さゞる情勢にあるのである 舊臘盟邦日本國と獨逸國との間に防共協定の成立したることは欣賀に堪へないのであるかゝる情勢の下に在つて滿日兩帝國が等しく東洋道德の精髓をもつて、國家存立の最高理想とし一德一心永久不可分の盟約を結んで、毅然として東亞の天地に嚴存することは實に東洋全民族の安寧と福祉とを擁護する唯一最强の保障といはなければならない

こゝに建國第五年の春を迎ふるに當り吾人はわが國民が深く此の點に思を致し御聖旨を奉體し滿日議定書の精神に遵つて內王道國家の完成と外東洋平和の確保に向つて更に銳氣を新にして拮据經營の誠をつくさんことを切望してやまざる次第である

秩父宮樣を
東京大會總裁に奏請

【東京卅一日發國通】第十二回オリンピック東京大會組織委員會は新春早々秩父宮殿下を總裁に奏請、勅許を仰ぐ豫定で勅許があれば東京大會は全國若人が渇仰措く能はぬスポーツの宮を總裁に彌が上にも榮光を增すわけである

日、滿、蒙は自衛上
防共、排共、滅共

外交部宣化司長　筒井潔

滿洲國の建國が歷史上幾多の重大なる意義を含むことは今更云ふまでもない、皇道或は王道精神の宣揚とか、大亞細亞意識の確立とか、日本の生命線擁護とか、白人の東洋容喙排除とか、三千萬民衆の更生とか、支那に對する垂範とか其他文明史的にも政治的にも經濟的にも軍事的にも種々の角度から種々の重大な意義が認められるのである、夫等の一つとして東洋の赤化防止といふ事を逸する譯には行かない、共產黨が東洋の赤化のため過去十數年不斷の努力を續けてゐることは周知の如くである、外蒙、新疆を手始めに支那、滿洲、朝鮮、日本內地さらに印度支那、蘭領印度シャム等をも赤化して共產黨獨裁の支配下に置かんとする陰謀が執拗に行はれて來た、日本內地で幾度か共產黨狩が行はれたことや、支那各地の共匪が長い間支那を苦しめ拔いてゐることは御承知の通りである、滿洲國の建國はこの遠大なる赤化陰謀に一大痛擊を加へ、滿洲の赤化を救ひ東亞一般における赤化勢力の進行を喰止める效果を收めたのである

×

若し滿洲建國の聖業なかりせばと思ふとき何人も慄然たらざるを得ぬであらう、滿洲事變勃發の二年前、張學良軍がソ聯軍に擊破され、ソ聯軍が破竹の勢で北滿各地に侵入して來つて、張學良は遂に屈辱的講和を乞ふて以來北滿におけるソ聯の威勢大いに昂り、從つて共產黨の猛威は北滿を基地として全滿を席捲せんとする勢があつたのであるが、滿洲國の建國と北鐵接收によつて數萬のソ聯人引揚とによつて滿洲における共產黨の勢は潮の引くが如くに立退いて行つた、然し油斷は大敵である、表面姿をかくして地下に潛行し、手をかへ品をかへ執拗な赤化工作をつゞけるのが共產黨一流の手である、吾人が鷹の如き眼をもつて共產分子の暗躍を警戒し、彼等の惡辣危險なる陰謀に對して十分の對抗策を講ずる必要は玆にある

×

滿洲帝國協和會が今度大々的に排共、滅共運動に乘出したり、或は日獨兩國が先般防共協定を結んだりしてゐるのは赤化運動の魔手が最近著しく活潑に動き出したからである、東は滿洲國や支那に、西はスペイン等における共產分子の暗躍明瞭はこれを證して餘りがある、滿洲國では日滿軍隊警察が日夜酷寒炎熱をも物ともせず、決死的努力で共匪撲滅に當つて吳れてゐるお蔭で、年と共に著しく改善の跡を示したが、今なほ東部滿洲の奧地や國境地方では共匪の爲めに住民はひどく惱まされてをり、又最近黑河省烏雲縣や佛山縣であばれ廻つた趙尙志匪が對岸ソ聯側から指令を受け兵器物資迄も給與されてゐた眞赤な奴であつたりしたのは御承知の通りで、滿洲國の治安攪亂が共產黨の對滿政策なのである、又支那では最近數ケ月間に多數の日本人が殺害されたり、暴行を加へられたりした、或は上海、青島等日本人紡績工場の罷業や破壞暴行沙汰が頻々としてあつたが之等は共產黨分子が日支戰爭を誘發させようとしてやる仕業であり、支那官憲もこれ等事件の背後に躍る共產分子を數多逮捕したような有樣である、又支那が數において世界一の大軍隊を四六時中東奔西走せしめてゐるのも、國內の共匪追ひ廻しの爲である、共匪の蟠居する地方の住民は、手當り次第に掠奪、殺戮の暴威を逞しうする共匪のために生地獄の慘を滿喫してゐる、北平や上海での學生街頭デモが對日即時宣戰ながゝ馬鹿なことをわめき立てるのも、共產黨の操り人形であるに過ぎない、又西安事件は支那を擧げて混亂焦燥の坩堝に陷れたが、これ赤張學良軍と共產黨との合作の芝居であることは昨今の新聞が報じてゐる通りである

×

一體支那の赤化といふことは世界革命を目的とするコミンテルンにとつては特別の意味があるのださうだ、世界大戰中に露國內で共產革命に成功した露國共產黨は、更に世界革命を目指してその工作を行ふ爲一九一九年（大正八年）に各國內の共產黨を構成分子とする國際共產黨即ちコミンテルンを結成し、先づ歐洲赤化を企て縱しつゝ、ハンガリー、獨逸、伊太利等においては殆んど共產革命近しと思はしめるまでに漕ぎつけたが、ムッソリーニの如き決死的反動運動が現れた爲めに歐洲赤化は失敗に終り、共產黨は毛蟲の如く嫌はれ、當分歐洲赤化の見込は無くなつた そこでコミンテルンが鉾先を東洋に轉じ、東洋における歐洲諸國の植民地や半植民地（支那のこと）を赤化して歐洲諸國を間接に攻擊し、赤化しやうと企てた、これを極東迂回政策と呼ぶので、この政策の中心は支那の赤化にある、從つて支那赤化はレーニン戰略コミンテルン戰術にとつて勝利の鍵であると言はれ、コミンテルンは一九二四－五年（大正十三－四年）頃から支那赤化工作に大童となつたのである、當時惡名を天下にとゞろかしたボロヂンとかガロンとか（現在のソ聯極東軍司令官ブリュッヘル元帥の前身である）コミンテルンから廣東に派遣され孫文の通ソ容共政策の潮に乘つて支那に共產熱を植えるのに成功したのもその頃のことである

×

以來今日に至るまで支那共產黨の踏んで來た途は悉くコミンテルンの指導によるものであり、共匪の行動も共產分子の策動もその基礎はコミンテルンの決議や指令にその源を發してゐる、先年は英國の在支權益殲滅を目指し、今では日支抗爭の激化を目的として、殊に最近は所謂人民戰線運動と稱する共產系陰謀が支那にも行はれてゐる、即ち抗日を共通の目的として凡ての黨派を合流させて共產黨がこれを指導し、對日攻擊を行はうといふ策動である、これによつて日支を戰はせ、戰爭のどさくさに乘じて日滿支を赤化しやうといふ魂膽なのである、從つてこの支那赤化政策は同時にコミンテルンの對日滿政策である譯で此意味で重大視する必要がある 外蒙は大正十年赤軍の占領以來コミンテルンの指導指令の下に在り、これに反抗して屢々內亂が起つたこともあるが三、四年前の全國的大反亂を最後として彈壓又彈壓、今日においては完全にコミンテルンの傀儡使に甘んずる國となりこれに不滿な數萬の人民は內蒙へ避難移住してゐる 新疆は昔から露國のねらつてゐた所であるがソ聯が昭和五年國境附近にトルクシブ鐵道を敷設して經濟上の勢力を握り、昭和八、九年に軍隊、飛行機を入れて軍事上の覇權を握つて以來、新疆は外蒙と同じくソ聯領土同然となり從つて共產黨の號令下に入つた、かくの如き四隣の逆勢に對抗して內蒙が防共自衛の聖戰を起したことは當然である 又シャム、印度支那で共產分子の擾亂が時々發生することや、蘭領印度の軍艦が共產分子の兵變で逃亡したことなどもさう古い話ではない 歐羅巴では大正八年頃赤化工作華やかなりし時代には先達て銃殺されたジノヴイエフなどは第一回コミンテルン大會で 獨逸の赤化は數週間乃至數ケ月內に實現する、英國でさへも一年以內に赤化させてお目にかける、全歐洲の赤化は最早時間の問題だと傲語したものだつた

×

然るにあて事と何とやらで事志と違ひ、その後總スカンを喰つたが、昭和八年獨逸にヒトラー政權出現以來コミンテルンは新政策をもつて新情勢に順應することゝなり、スターリンの一國社會主義理論なるものを吹聽して世界革命といふマルクス以來の金看板を引き下ろす態にみせかけ、これによつて世界を瞞着しやうとかゝつた 即ち共產主義はソ聯邦一國だけで實行することにして、他の諸國の革命は一切致しませぬと神妙な風を見せて歐洲諸國の警戒心敵愾心をまづ解き今後はおてゝをつないで一緒に世界平和の維持に努めやうそのためには皆共同戰線を張つて獨伊のファッショ運動に對抗する必要があると宣傳して、國內にファッショ以外の各黨派を糾合した所謂人民戰線なるものを作らせ、コミンテルンがこれを操縱するといふ巧妙險險な新戰術をとることにした、これは勿論方便としてのカムフラージであり、國際的ジキルとハイドであつて、これに乘ぜられた佛國は全國的罷業や國內各地の流血的擾亂に惱まさ[illegible]失墜甚だしく、[illegible]骨肉相[illegible]死傷數十萬、殺人放火勝手放題といふ地獄繪卷をくり展けて既に數ケ月未だに旺んにやつてゐるといふ始末におへぬ狀態となつたのが所謂人民戰線と美稱する赤化工作の收めた成績である

×

要するにコミンテルンの陰謀は現在の國家組織も社會組織も人間らしい生活をも一切破壞し盡して、其あとに共產黨首腦者數人の者の手で世界的專制政治を布かうといふのである、註文通りに行くとすれば、全世界の人間を現在シベリアの强制勞働者の如くに奴隸として了ひ、氣にいらぬものはカメネフやジノヴイエフの如くにあつさり銃殺して了ふやうな惡魔世界を現出することになる、そしてこの惡魔世界のデッペンをコミンテルンの專制者二、三人が占めてモスクワから世界に號令しやうといふのである それ故に、日滿蒙は自衛上防共、排共、滅共が絕對必要とする、又支那官民の覺醒を促して支那でも防共、排共、滅共に邁進する樣に致さねばならぬ

傳語

日滿支米と四ケ國に跨る大詐欺事件國際銀公司問題は▼舊臘新京署高等係の摘發により事件は廣範圍に及ぶこと判明▼岡田高等係主任の上京となり取調べの進展に伴ひ意外なる方面に波及▼一切が警視廳に引繼ぐことゝなつたが此の事件は單なる營利が目的でなく▼その裏面に多分に政治的色彩あることは登場人物によつて明かとなつた▼然して本事件は相當複雜を極めるものと見られるが▼取調べ當局はその何人たるを問はず法の神聖にかけて斷の一字をもつて臨んで貰ひたい▼國都の花柳界ネオン街等に落ちる一ケ月の金額はざつと見積つて百萬圓近いといふ▼この數字から見ると國都の景氣は決して惡くはない筈だ▼ところが暮れの不景氣だといふ▼これとそれとを對照するとき國都の步みは實に變則的な步みである▼赤字赤字で押して行つた最後を考へるとき我々は▼今日の國都を築いた先人に對して何の顏容やある▼諸君大いにしまつてかゝらうではないか

本日朝刊四頁

探偵小説

殺人會議

木々高太郎　池邊青李・繪

倶樂部の談話室であつた。

ストーヴをかこんで、玉突きにも麻雀にもあいた連中が、はじめはスキーに行つてゐる友人達の惡口をいひあつてゐたし、そのうちに正月の休みの少ないことを憤慨してゐたし、やがて重役や社長の棚卸しになつてきた。

かうして大抵の興味あるやうな話題がすんだあと、ふと誰言ふとなく人殺しの話になつた問題は、どうすれば一番確實に、そして發見しない人殺しが出來るかといふ問題であつた。ピストルはだめだといふことはすぐ決議された。

『殊に二・二六事件のあとではね、ピストルが手に入るなどゝ考へる奴があつたら、おめにかゝりたいね、それは絶對にと言つてもいゝくらいだめなんだ』

それに音もする、およそピストル殺人が一番現場不在證明が出來にくいものである、といふことはもうくどくど討論の必要はなくして一同が承認してしまつた。

毒藥もだめだ、青酸加里が流行したときには毒藥こそ一番いゝ方法だと考へられてゐたがいまではこれに對する對策も施されるやうになつた。一體に毒藥の方がピストルなどよりは現場不在證明が作りやすいからいゝわけだがアリバイを作つて毒藥を用ひるときには、不確實さが増してくる。その殺して了はうとねらつた人間が第一毒藥を飲むか飲まないかが不確實になるのを我慢しなくてはならない、さてかうしていろいろの殺人方法が議に上つたが、どれもこれも罪に陷らずにうまく人殺すにはだめであつた。これで會員の一人がとうとう嘆息を洩した。

「君、うまい殺人方法なんてありつこないぜ、第一探偵小説を讀んでみたまへ、江戸川亂歩のものにしてからが海野十三のものにしてからが、ろくな殺人方法は書いてないんだ。こりやうまい、といふやうな方法は實行不可能か、さうでなければ結局荒唐無稽な奴なのさ專門に殺人の方法ばかり考へてゐる連中だつていゝ方法がないと言ふのにわれわれみたいな非專門家がポツとそのことを話合つてみたところで、いゝ方法があるわけはないよ」

「さうでもないさ、では斯ういふ方法はどうだ」

さう言ひ出したのはこの倶樂部の世話役で誰でも知つてゐるA會社のM君であつた。

「M君か、倶樂部のことでは君も仲々新工夫を出してくれるんだが人殺しとなると君の手におへんのぢやあないか」

「いゝや、いゝ手が思ひついたそれは少し技術を要するがね、なにその技術なんざあ一と月も練習すれば出來るいや、現に練習せんでもこゝにゐる諸君は出來てる皆んなやつてる、支配人の目を盜んで給仕を相手に晝食時間などにやつとる」

「何だい、それは」

「キヤツチ・ボールのことだよ」

そこで一同がどつと笑つた

「あれは俺の會社では禁じられた」

「どうして」

「いや、生憎ボールが窓ガラスに當つてね、二枚ばかりわつちやつたのだ、その時はまだよかつた、用度の奴と會計の奴とに頼んでよろしくやつたのさ、ところが三度目には支配人の肩に當つて了つたのだ、それで全部永久に嚴禁といふことになつた」

「永久でもあるまい」

「それは支配人の代るまでといふわけだが、君、あの支配人の顏を見てみたまへ永久つていふうな面をしてゐるぜ」

「待てまて、そんな支配人の話はどうでもいい、Mの話を聞かう、それでM君、君はキヤツチ・ボールで人殺しが出來るといふのかね」

「うん、ネタを率直に言へばさうさ、だが説明をしようとにかく殺人の最も巧妙な方法といふのは、確實にみてゐる前で人を殺し、そしてしかも決して自分の罪にはならぬ、といふ殺し方だよ、それ以外にはないのだ現場不在證明などを作る方法は不確實か、或ひは實行不可能だ、このことはもう先刻から論じ盡されただからどうしても衆の前にみてゐて自分の手で人殺しをしかも確實に無罪であるといふ方法を撰ばねばならんのだ」

「うん、こりやあ判つた、それで」

「それで君、さういふ殺人の方法は過失殺人よりほかに方法はないのだ」

「つまり過失とみせかけるのか」

「さうだ、確實に人殺しをしておいて、しかも過失であると主張も出來、さも起り得る方法でやる、それが過失殺人だ」

「それでキヤツチ・ボールといふのは」

「それだよ、僕は野球のボールを前額部でも後頭部でもよい、確實に、強くたゝきつけたら人は死ぬと思ふのだそしてこれは過失で充分やれる」

「やれるかしらん」

「やれるとも、但し野球のボールと言ふのは一例で、他にいろいろあるさ、その職業の必要なものでいろいろある職業の違ひで人を殺して置いて過失であることが證明出來るだけの用意があればいゝのだ」

この時給仕がお茶を持つて來て一同に一つ一つ茶碗を渡して歩いた、給仕はこの動作をひどくのろのろとやつたがそれは殺人の話を聞き度いためであつたらうと思はれる。

「成程、さういはれゝば僕の方にはうまい方法がある」

工學士のK君であつた。

「僕等は熔鑛爐を持つてゐるあれは一と突きだ、あの中にうつかりよろけ込めばその瞬間にこの世とさよならだ、しかも耳を聾するばかりの騒音がある、やつて了つてから過失をしたといつて大騒ぎをすれば、誰も過失の際の物音を聞かれることはないのだ」

「僕の方にもある」

やはり工學士のN君であつた。

「僕の方にはベルトがある、あれに袖をちよつと捲き込ませればそれでおしまひだ、身體ごと捲き込んで機械が止まるか、あわてて機械を止めるかした時にはもうとつくに死んでゐるのだ」

「なあんだ、K君にしても、N君にしても工科の連中はみんな過失殺人の武器を持つてゐるんだなあ――法科や商科はその點困るね」

「だから僕はキヤツチ・ボールのボールだと言つたんだ」

皆が元氣よさゝうに笑つた

そしてこの話はお正月休みの爐邊夜話に終りさうになつたところがこの時隅の方から低いが何か底力のある聲が聞えた。

「過失殺人よりもつと確實でもつと理想的な方法があるでせう。そしてそれが凡そ殺人のうちでは最も完全な殺人方法ですよ」

皆が何かギヨツとしてその方を向いた、それは見知らぬ人であつた、新しくこの倶樂部の會員になつた人であらうか。あるひは誰かこの倶樂部の會員のうちの一人がつれて來た會員以外の人であらうかさうでなければ古い會員でめつたに倶樂部にやつて來たことのない人なのであらうか、誰もが一體誰だいと言ふやうな顏をしてお互ひの顏を見合つた、しかしこの見知らぬ人の澁い聲がつゞいた。

「過失殺人だといふと場合によつては法律にも問はれるしよし法律に問はれないでも社會や友人の記憶には殘る、少くとも道德上の責任はその人間の肩にしよつちうかゝつてゐるといふことになる。またある場合には目的を遂げるために非常な不便を來すことになる。だからそれは完全な殺人とはどうしても言へせん」

見知らぬ男の聲がこゝで一すきれた、しかし恰も體驗のある人がその體驗を語り出した時に聽衆が傾聽するやうに誰も口出しをする者けなかつた。聲はつゞいて來た。

「それは實際には人を殺して置いて自殺であることを證據立てることです、――いやこれは言ひ方が惡るかつたです、言ひかへれば自分の殺して了ひたいと思ふ人間を自由に自殺させることです」

誰も何とも言はなかつた、それはやゝあつ氣にとられたのでもあつた。

「諸君はアノトール・フランスの書いた『赤い卵』といふ短篇をよんだことがありますか、恐しい短篇です、そのうちに或る女が恐怖と苛責とにさいなまれて不思議な自殺をした話があるのです、その女は身に覺えのないある犯罪の嫌疑をうけて、自分がその言ひ開きの出來ない卑怯さに絶望して、いよいよ鋭くなつた感受性の虜となつて、どうにも動きがとれなくなつてゐたのでした、かうした狀態にあつた時に、ある偶然な些細な事情が彼女の運命を決して了つたのです、それは彼女の甥が、まだ子供ですが、學校の宿題をやつてゐて、ラテン語の詩を諳讀してゐた、その文句のうちに首縊りといふ字が出て來ました、子供は、それを何氣なく首縊り首縊りと繰りかへして、歌ふやうに叫んだのです、意志の力のすつかり挫けてゐた女は、この言葉の暗示に無抵抗に從つたのです、聲も立てず物も見ずスッと立上りました、そして自分の部屋に入つて、首を縊つて了つたのです」

曖爐の火の燃える音も靜かになつて來てゐたが、誰も物を言はなかつた、給仕も先刻から其處に立つてゐたが、石炭をくべることも忘れてゐた

「さうです、この方法は完全無缺な殺人方法です、殺さうとねらつた人間を、さう言ふ心理狀態に陷入れるのです、そして、何か適當な暗示を一つ與へてやればいゝのです、恰度、熔鑛爐につき落すと同じです、ベルトに袖の端をそつと捲き込ませてやるのと同じです、或時は、一つの言葉で澤山です、或る時は一瞬時の顏付を見せるだけで澤山です。＝自分の現場不在證明を長い間計畫して工夫する代りに、相手をさういふ心理狀態に陷入れるたせに計畫し工夫すればいゝのです、＝勿論、私は、諸君が、見も知らぬ少しも關係のない人間を殺さうと思つてはゐないことを知つてゐます、さういふ見も知らぬ人間を殺す場合には、この方法では駄目です、自分の妻とか、良人とか、或ひは同居人とか、とに角、身近かのものを殺す意圖を諸君が持つてゐるものと見へます、さうすれば、この方法がどんな殺人方法より完全な殺人方法です、しかも、自分は無罪です」

＝諸君は身近かのものを殺す意圖を持つてゐます＝といはれたので、一同は固くなつてしまつた、そしてやつと、M君が唖れたやうな喉につまつたやうな聲を出して質問をした。

「然し、どんな工夫をしても、誰にでも、さういふ心理狀態に陷入れることが出來ますか、それが先決問題ではありませんか」

見知らぬ男は、この質問でM君の方へ向いた、その眼は輕蔑とも憐憫ともつかぬ、一種異樣な眼であつた、恰も、人殺しをした體驗をこの人が持つてゐるのではないであらうかといふ疑惑を起させるやうな、無氣味な眼であつた。

「出來ます、我々の人間の心の底に、何か異樣な動物が棲息してゐるのをお感じになつたことがありませんか、破倫な、不義な、怪物がゐるのを＝これがある以上、誰でも人間と名のつくものは、さういふ心理狀態に陷るのです、＝今、俺は陷入らないといつてゐる人が明日陷らぬとは限らぬのです」

「さうかしらん」

M君が、不安らしく呟いた。その聲を壓し拉ぐやうに、その男の聲がつゞいた。

「さうですよ、第一、諸君は今晩、人殺しの話を熱心にしてゐたではありませんか、それが、諸君のうちに、異樣な動物の棲息してゐる何よりも明らかな證據です」

その男が底力のある聲で斯ういふと、一同は、何かハーツとしてしまつた

やがて默つてゐる一同を殘して靜かにその男が立上り、音を立てずに部屋を出て行つたが誰もその男が誰もその男の名を聞き名刺を交換するために呼び止める者はなかつた。

漫談　ゲテモノ

松井翠聲

まともなものが通る時代に、ゲテモノも一方に存在價値が出てくるわけだが、今日のように世の中の方が、すべてゲテモノ的になつてくるとどれがゲテモノで、どれがゲテモノでないかなんて事の區別がつかなくなつて了つた、段々なれつこになつてゐるので、普通の折では、ちよいと氣にもかけずにすんでゐるのを、この際何とかの始めは新年にありとかなんとか言ふから、取立てみることにする。

昔は正月となると、仲々町の景色はよかつたものだ、各家相當の松かざりしめ繩をやつて入口には家の紋のついた小形の幕を張つて、金びようぶの前へ三寶を置いて、年賀のお客を待つた、なじみの人でも來ると、無理矢理に引ばりあげてトソは勿論、酒をいやといふ程飲ましたもので、實にワキアイアイたる光景を呈したのである、松かざりだつて最近ぢや商店街なんぞは兩側へひよろ長いササばかりをおつたてゝ松も梅もぬきでやぶの中でも歩いてゐるような感じだ。

…ほんのササやかなお祝で…て、しやれにもならない。

本來このカドマツなるものは、と言つても僕もあんまり詳しくは知らないが、松と梅と竹、つまり松竹梅…松と梅と櫻あれは違ひますよ…を揃へて置いたもんださうだ。

諸君の家のやつになかつたら、何處か金持の家の前のを調べてみるといゝ、きつと今でもやつてゐるかも知れない

もつとも金持てものはケチン棒だから、案外なにか代用品で間にあはしてゐるかも知れない、あのドルの國の大金持の、ロツクフエロウぢいさんの家では、毎年クリスマスに、生のクリスマスの木を使用するのは不經濟だといふので、芝居の道具の古いのを買つた造花でやつてゐる相だから、日本だつてそのくらいのことはあると思ふ。

フアースト・クラス即ちAクラスが生の松竹梅、Bクラスになると梅がなくなつて松と竹とになる。

然しこれも植木屋さんか仕事師、つまり本職プロフエツシヨナルにやつて貰ふと、そのなくなつた梅の代りに松と竹とを結ぶナワの結びめをちやんと梅の花の形にしてあるから要するに松竹梅にはなつてゐるわけである、次のCクラスになると、こいつはちよいとお寒いもので、細つこい松の小枝が一本きりで棒の下を紙でお神樂をおどる娘の毛みたいにくるくると巻いた奴を釘ではかなく打ちつけたものので、ほんの申わけみたいなものだ。

正月の仕度はまだこのほかに入口へぶらさげたり、モチの上へのせたりする装飾品が入るのである。

白い色でラツキヨみたいなのがよく家の入口へぶらさがつてゐるが、あれけ正月には關係はない、あれはニンニクであれをぶらさげておくと惡い病氣がこないといふ迷信から來てゐるので、それも昔は幾分氣やすめにもなつたらうが、最近みたいにニンニクを平氣で誰もかれも喰べるようになつたら、あの臭ひで人をおつ拂つたり出來るもんぢやない。

病氣の神經だつて……コイツはよきホルモン劑ぢや！てなことで逆に入つて來るだらうで、その装飾品の話だがダイダイに……

諸君！

ダイダイといふ字を知つてますか、知らない？　よろしい、ぢや、木扁に甘いて字を知つてますか？　ミカン！

よろしい、では、木扁に黄色といふ字は？

ダイダイ！

あほらしい!!

そのダイダイはウラジロにエビのダツトサンの一組を飾らないことには正月にならないこれを買ふのがまた凡そ近代的商業政策とは縁の遠いもので、その時の氣持ちで、同じものが一圓になつたり、十五錢になつたりする、あのくらいなんでも賣りたがるデパートにも定價付きで賣つてゐるこの装飾品だけはみたことがない。

きつと賣る品物はあるんだが、賣子掛りの仕事師が店員の中に居ないからかも知れないといふほど意氣と傳統でやつて居るオカザリがなんと最近、セルロイドだの粘土細工のエビをくつゝけて發賣におよんだりするやうになつたから何とも早やコ[illegible]イくらいのものである。

食堂の見本棚の中ならセルロイドのおすしだつて粘土製の親子だつて珍らしくないが自分の家の入口へお祝ひのためだといふのにインチキ品はぶらさげたくない、もつとも住んで居る人間がインチキ…といふ證據なら丁度おあつらへだ。

さてこの準備、相ととのいますれば年賀客萬來といふ順になるんだが、これがまた相當難物である。

和服なら紋付、羽織袴てのが相場、洋服ならモーニングと話なら簡單に出來るが、さて實際に必要だといふだんになると誰でも持つて居るつてわけにゆかない。

カンコンソウサイ、といつたつた大臣ぢやありませんよ目出度いときだの不幸のときの用意のために一揃へはなくてはならないものなのだ、ちいよゝ買いたいものだ、自分が買つてこれほど人のために使ふ着物はありやしない、まづ自分の結…一遍使つたら今度…ふ、自分のお葬式…ていゝからまるで…みたいな勘定になる。

そこへ目をつけたのが『貸衣裳屋』といふ商賣だ。十二月の結婚月から一月の年賀月へかけてモーニングに紋付が羽がはえて飛んでゆく、だがちよいと弱るのは紋付で、山田さんだらうが、田中さんだらうが、鈴木さんだらうが、犬の糞さんだらうがみんな同じ紋だつたりするのは誠にさびしい、しかし今の世の中ぢや何家の紋は何なんて知つてるのはてんでありやしないから紋さへついてをればいゝようなものだ。

僕の友もこいつを借りて堂々と結婚寫眞を作つて式に出席したみんなへ送つた、勿論僕自身、その式の時は借り物だといふことは知らなかつた紋に對する知識の不足だか、當世風だか知らないが…。奴さん、東京で花嫁を獲得して友人達の間で式をあげたので田舍の兩親や親類を知らないから、丁度新年休みを幸ひにワイフを連れて歸省した。

と、一枚の葉書が彼氏の來るのを待つてゐた――拜啓毎度お引立を有難う存じます、さて、先頃御下命を給はりましたモーニング第三十六番、是非とも新年御年賀用として御下命給けりたく……てんで、結婚費用のインチキ計算、禮服新調のカラクリが暴露しちまつた。

酷寒を衝いて皇軍各地に奮戰

相次ぐ猛擊に匪團續々潰走

園部部隊本部發表

園部部隊本部發表＝

一、二十八日午後二時頃山口部隊の菊池隊は本溪縣韓家房子東方高地において共匪約六十と遭遇激戰の後、敵匪十を斃し潰走せしめたが右戰鬪において上等兵鈴木清君は名譽の戰死をとげ、伍長土屋茂雄、一等兵植草卜の兩名は負傷した

二、布施部隊の市駒隊は廿八日午前興京縣大東溝における有力なる匪團と遭遇、激戰數刻の後これに多大の損害を與へ擊退したが、右戰鬪において軍曹佐藤牛吉君は壯烈なる戰死を遂げた

三、宮尾部隊の神田○隊は興京縣第八區大西叉において廿九日午前十一時頃共匪數十と遭遇し交戰したが、現在までに判明せるところによれば丹野上等兵、加藤一等兵は負傷、敵匪の損害不明、急報により午後一時宮尾部隊の主力が現地に急行引續き攻擊中

滿泰洋行の白鷹

中央通り滿泰洋行では近く銘酒「白鷹」を販賣することゝなつたが、發賣に先立ち去月卅一日夜六時より彌生において各方面を招待して試飲會を催した

◇……田家の雪……◇

果然！活況を見せた新春の映畫街

揚りの筆頭は長春座

お正月は映畫から……舊臘銀座キネマの出現によつて一躍六館を有するに至つた國都映畫街は新春を迎へて各館ともに夫々のフキルム系統による大もの〻砲列を敷き、舊年末とみに不調を喞つてゐた客足を果然盛り返してお正月興行に相應しい活況を見せた、然し這に不況の影響と言はふか、觀客層と館數との均衡の上に現はれた破綻の影響であらうか、一律に昨年以上の好況を見せたとも思はれなかつたやうである、一日の各館の揚りを示してみれば、長春座が昨年同樣筆頭で一千六百圓豐樂劇場が千三百圓、帝都キネマが千一百圓、新館銀座キネマと新京キネマが千圓、朝日座が八百圓といつた數字であるから先づ大體番狂はせのない結果であらう但し觀客層の上においては銀座キネマ並に朝日座の揚りを加へて見る時、昨年正月の四館當時に比較して飛躍的膨脹を示してゐるものと言はれやう、尙唯一の色ものとして公會堂に蓋を開けたミスワカナ一行の漫才も活況を見せ不振勝ちだつた色もの興行の幸先きよきスタートを見せた、引き續き各館とも四日より第二週に入るが番組は左の如くである

▼長春座＝大船「愛の一つ家」京都「薩摩隼人の唄」佛アリス「はだかの女王」

▼帝都キネマ＝新興「一豪快男一代」メトロ「嵐の三國旗」色付漫畫數本

▼豐樂、新キネマ＝日活「白井權八」PCL「續エノケンの千萬長者」ウファー「ベニスの船唄」

▼朝日座＝RKO「キングコングの復讐」日活「氣まぐれ夫婦」（封切）同「蝙蝠組」

▼銀座キネマ＝マキノトーキー「赤垣源藏」同「芝濱の革財布」フォックス「ミイラの殺人」

ラヂオ聽取者一萬臺を突破す

意氣込む新京電々管理局

目出度や！　晴れのお正月を目ざしてぐんと踏ん張つた電々會社が遂に新京管理局管內のラヂオ聽取者を一萬三百と獲得、おまけに奉天を退けて大連の牙城近く第二位にゴールインした、年來の宿望一萬台獲得を見事成し遂げた電々では暮の二十九日南廣場管理局で三宅副局長以下全局員參列して一萬台突破の朗らかな祝賀會を催した、一般市民の文化的な娯樂機關としてまた國防的な見地からも偉大な役割を背負つて立つ放送事業は二重放送の實施、市內營業所の進出、電々型受信機の朱乙溫泉行特別景品附大賣出等の積極的な擴張政策によつて文字通り三段飛的な飛躍振りを示した、即ち昭和十年末までは僅々三千六百七十六のラヂオ聽取者が十一年十一月末には九千五百と約三倍に激增したが、暮れの僅か一月間に何んと八百台を賣り盡して一萬台を突破、大連の一位一萬二千台もなんのそのこゝに躍進昭和十二年度を迎へたものである

商業ホッケー軍B級大會へ

三日四日の二日間に亘り奉天國際リンクに於て擧行される全滿B級氷上選手權大會に出場する新京商業ホッケー留守軍は二日午前八時發列車で、中學校は午後八時五十分發列車でそれぐ奉天に向け出發した

新京署にスケートリンクが出來た早速ジヤケツからスケート一式を註文した岡野さん朝は早くから退廳後もアンヨハ上手ココマデオイデよろしくよちくリンクの欄垣につかまつて歩いて御座る▼だが純白のジヤケツを買つたきり御召にならん何故？轉ぶのにはこれを着るとあまり目立ちすぎるよ……

は內所く▼負けずに練習に余念ない菊地さん、でもどふやら步るけるやうになつたが元旦にさる街道でいやつと云ふほどこけた誰れかゞスケートも役にたちませんねと云へば「何僕はまだ滑るところまでいかんよ、いまのところころんでも怪我をせん稽古だよ」はほんとですね

天氣と氣溫

今日の天氣	南西の風晴後曇り
日の出	前八時一三分
日の入	後五時一三分
月の出	後　時　分
月の入	前一一時一一分
きのふ氣溫	最高零下八度七 最低零下一七度六

一山當てれば明日から大盡（上）

不可思議な魅力！　北滿砂金の姿

砂金、女、酒、賭博、阿片、ダイナマイト、山師、成金……等々あらゆる投機的要素をカクテルにして渦巻いてゐるのが北滿砂金地である、濁浪滔々として流れる大黑龍江の右岸、更に背後に迫る小興安嶺山中には今世界屈指の黃金境としてアラスカのコロンダイクをしのばせるゴールドラッシュが現出してゐる

どうせ泣くも笑ふも短い命なら家財道具も賣飛ばし、女房も質において山に入らうといふ者が出て來る、一山當てれば明日からは大盡樣だ、大名も跪き賢者もひれ伏す黃金の不可思議な力に魅せられて猫も杓子も浮かれ立つてゐるのが北滿砂金の姿である

獐大人

露支條約で有名な愛琿の近郊に呂鼎洲といふ男がさゝやかな雜貨店を開いてゐた、昨秋のある夜のこと失火し一切を灰燼に歸し着のみ着のまゝ辛うじて戶外に逃げ出した彼は驅け集つた村人の見舞の言葉に「沒法子、沒法子」と受け答へしながらぼんやり燒跡をながめてゐたが、明日からの生活の事を考へると「沒法子」では濟まされない氣がした何とか方法を講じなければならない、といつてあの蟻地獄のやうな採金苦力にまで身を落す氣にはなれなかつた、曉方近く彼は思ひ切れない風に何か殘つてはゐないかとまだ餘燼のさめきらぬ燒跡を掻き廻してゐたが、ふとそこに鐵銃を見出すと「そうだ」と急に勢よくさけんだ、數日前獐を追ひつめて射止めたあの白樺の山にある地際を思ひ出したのだ山吹色の砂金が急に呂の眼の前で輝き出した、あるかないか當つて碎けろ！突然彼は歎じみた奇妙なさけび聲をあげ驚き立騷ぐ村人達をはね飛ばし一氣に二里餘もある山坂をかけのぼり、その地際に走りつくともう泥まみれになつて地底を掻きまわしたあつた、あつた！一粒、二粒兩手に驚摑みにした砂の中に針の頭ほどの砂金が燦然と光りかゞやいてゐるではないか彼はもう愚圖してはゐられなかつた、採金會社から採掘權を獲得するとすぐに附近一帶の採掘に着手した、一坪當り最低廿圓から百圓位までの湧くやうな砂金の豐庫だ

呂はもうたゞの呂ではなくつた、砂金は砂金を生み、呂先生から獐大人へと飛躍しラッコの毛皮にまるまるとくるまつて葉卷の紫煙を燻らしながら三人の妾を抱へておさまりかへつてゐる彼の懷には現在毎月二萬圓の現金が流れこんでゐる

「世の中つて君萬事この寸法でゆかなければ意味ないよ」

といふ彼の得意さおして知るべしだ

五族協和支店

金が蓄まると人間もいろいろ珍らしいことがしてみたくなる、金と暇が出來ればまた男たるもの一人の女だけを守つてもをれないらしい、男一匹生れたからには妾一人も持てない法はないと考へる者もをるこゝに王大海といふ把頭（苦力頭）上りの成金がゐる、いま黑河の町で王大人とよべば泣く子もだまるといふ權勢ぶりだ、この二年程前、小興安嶺山中の砂金が當つて今では押しも押されもせぬ百萬長者だその王大人食物がいゝせいか齡はとつてもなかなかの元氣靑光りに剃つた頭には脂が出てピカピカに光り、いつも精力をもてあましてゐた小春日和など庭先きに出て日向ぼつこしてゐると妙にむくむくと妖しい氣がもちあがり、下婢など呼びつけて離さぬといふ仕末、これに驚いた王太々がある日

「私は段々齡も老いて參りましたが旦那樣は益々お元氣どうでせう一つ妾でもおもちになつたら……」

なかなかさばけた太々だが支那ではこんなことは極めて普通で、妻が齡老いてもの〻役にたゝなくなると外部との面倒が起らぬうちに第二、第三夫人を迎へることは上流社會での習慣であり、また見得でもある

「それはわしが近頃思ひなやんでゐたことぢやよ、お前の手前も考へてのう、ところが、お前の方から切り出されてみるとこの齡ではちと恥しい氣もするがわしは嬉しい、禮を言ひますよ、また世間態からいつても王大人とまでいはれるわしが妾一人も持たぬとあつては外聞が悪い」

天空澗達、俄かに生きる喜びを知つた王大人は肥滿した四肢をうんと伸ばして思切り跳ね上りたい衝動に驅られた

「よし、この元氣さへあればわしは五人の妾が持てる、しかしわしは近頃よく五族協和といふ言葉を聞くがあれは口先ばかりではだめぢや、實踐に移さねばならぬ不言實行といふのはわしのモットーなんぢやから」

その翌日王大人は飛行機で哈爾濱へ飛んだ、そして一ヶ月目に黑河へ歸つて來た王大人は出迎ふ人毎に

「わしもお蔭で大分仕事が繁昌し貯へも出來たからおよばずながら五族協和に一臂の力を盡さうと思つてこんど哈爾濱に支店を設け、五族の店員を備入れたが、こりや仲々好成績で都合も極くよい、いつそのこと哈爾濱を本店にしようかとも思つとるんぢやよ」

そして王大人はいま哈爾濱に……をるそうな

妖魔往來（續上映）

一四五

桃川燕二演
內山錳太郞畫

誠に尤も千萬の話しで、宇都宮から江戶……江戶から甲州、是迄訪ね來つたのは容易ならぬ骨折、今一息となつて肝腎要のお志律が桂川の藥湯と相成つたのであるから、八郞の失望も落膽も道理至極、此間に連尿き共は罵ッ放して大坂屋熊吉と共に何處へ逃去つたか皆目姿を見失つて終つた、日は早トップリと暮果てましたが、猶幾かは提灯が續いて居ります、殊に甲州の大街道旅人も相應に通る、人の二人も殺したのだから是が宿內へ分らぬ譯はございません

「喧嘩だッ」

「斬合ひだッ」

と夫から夫へ傳はります、雲役人も打つ棄ても置けない、數名の者を引連れ御用の提灯を振照らして其場に驅附ましたが何しろ闇黑の事であり人切庖丁を持つた奴が居るのだから傍杖を食つては堪りません、提灯を眞ッ先に立てて

「雲黑人は何れに居るぞ」

「神妙に其次第を申立てろ」

「雲黑人は何れだ」

欄の上で叱咜つて居て一向側へ近附いては參りませぬ、是では早く逃げろと云はんばかり……八郞考へた

「人を二人手に掛けた、何人共無腰の人の娘を深拐して來たのだ、宿場役人に此次第を話せば差支ない樣なものだが、此邊は天領で甲府には在番の代官が郡代が居るだらう、何ひを立てるの何うのと二月や三月は此儀に足を止めて居らねばならない、いつそ此儘當地を立退から、血刀を鞘に納めて其儘跡へ引返して來た、其後は馬澤の宿を離れたとある百姓家に泊りを求めました是は流行の八郞も刎手を恐れたので、旅籠屋に上らなかつたものと見えます、然かに內證新宿の宿分けで傷を受けた驛抜きが、其傷急に痛み出し何……」

「寄つちや居られねえが、昨夜猿橋に人殺しがあつただが聞いたか」

「ウンニャ聞かねえ、何が殺されたのだえ」

「旅人だがなア、甲府の柳町へお女郞に賣られて來た女を駕に乘せて來ただとよ」

「ぢや其女が殺されたのかへ」

「ウンニャ殺されたのは其女の親人で男が二人だと云ふが、可哀想に娘は猿橋の崖から桂川へ突墜り込んで死んだとよ」

「夫りやア可哀想な事をしたな殺したのはやつぱり旅人かへ」

「夫が狼人者だとの事だ、今驛澤の宿役人から聽いて來ただが、其浪人共者がこちらへ逃げた、まだお驛れは出ねえが多分其浪人者を詮議なさるだらうよ」

「ナニ浪人者が逃げたとな」

藤六醜の色が變つて了つた

「藤六どんは老齡の事だ、若い衆を五六人と宿役人から頼まれたが、行くめえな」

「何をするのだい」

とも仕方がない夜が明ける迄一睡も出來ません、翌日になつても出立が覺束かない

「氣の毒であるが足が此通腫上つて步く事が出來ぬ、一日切で好いに依つて逗留をさせては呉れまいか」

と餘儀ない頼み、此百姓は藤六と云つて至つて好い人物

「夫は定めし困らつしやるだらう、此ん陋家で別に食ふ物がねえが、夫を承知なら好いどころでねえ遠慮なく居らつせえ」

と早速承知して呉れた、八郞喜んで今日は一日休めると思つて居ると彼是亥刻刻、今の午前十時頃近所の百姓が

「藤六どん居たね」

「オ、久作何うしたい、寄らねえか」

●一白の人　目前の利に迷ふて大計を破らぬ樣にすべし　未と辛と癸が吉

●二黑の人　後るゝ共急ぎて躓かざるやう心懸るが專一　乙と丁と戌が吉

●三碧の人　意外に幸福なる日なれども口舌は愼むべし　庚と辛と寅が吉

●四綠の人　小石も積めば末遂に山となる勉むるが第一　庚と辛と丑が吉

●五黃の人　手順を誤らず進むに焦らざるやうにすべし　巽と丁と乾が吉

●六白の人　平和を大切とすれば大過なくして濟むべし　甲と申と亥が吉

●七赤の人　沈着にして根氣能く働けば吉日となるべし　乙と申と壬が吉

●八白の人　進むべき地位に在れど自重せざれば失敗す　申と辛と壬が吉

●九紫の人　事の半ばにして破れを生じ易し安靜が肝要　甲と庚と戌が吉

けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）三日（日曜日）

ラヂオ

朝

七、三〇 元始祭 聖訓謹話（東京）神武天皇皇都經營の詔（一） 文學博士 植木直一郎

八、一〇 氣象通報、入港船のお知らせ（大連）

九、三〇 子供の時間（大阪）童話劇 輝く日本行進曲 大阪童劇協會

一〇、〇〇 新春吟詠（短歌）朗讀並解説（東京）土岐善麿 （大阪）川田順

晝

一一、五九 時報（東京）

〇、三〇 ニュース（東京、新京）

〇、五〇 管絃樂（大阪） 大阪放送交響樂團 指揮 宮原禎次

一、〇〇 長唄「新曲浦島」 二、長唄「羽衣」 三、長唄「老松」

一、二〇 俚謠 （一）さんざ時雨（仙臺） （二）別子銅山大の歌 住友別子鑛山從業員有志 （三）九州祝ひ唄三題（廣島） 唄 時榮 外
（熊本）一、よいやな 大分縣直入郡連中
（福岡）二、皿踊 佐賀縣藤津郡婦人會連中
（鹿兒島）三、薩摩六調子 鹿兒島加世田町連中

二、一〇 新日本音樂（東京）
一、神曲 吉田晴風作曲 尺八 吉田晴風 同 渡邊浩風
二、小鳥の歌 宮城道雄作曲 尺八 吉田晴風 同 渡邊浩風 箏 吉田恭子
三、山村の水車 吉田晴風作曲 尺八 吉田晴風 箏 吉田恭子
四、春謳歌 吉田晴風作曲 尺八 吉田晴風 箏 吉田恭子

二、四〇 清元四君子 浄瑠璃 お鯉 浄瑠璃 笑丸 同 照若 三味線 清元延寅子 上調子 照蝶
引續き 三曲 松竹梅 三絃 河崎雅榮 尺八 井上起童 箏 四戸富貴子 同 河崎久子

夜

六、〇〇 子供の時間（東京）ラヂオのお年玉 新年童話リレー（三） 第三選手 安倍季雄

六、二五 講演 新年に際し協和會の目標と進路を語る 滿洲帝國協和會中央本部長 井上忠也

七、三〇 歌謠曲（東京）

八、一五 詩吟（東京） 富士山 徳富蘇峰作 雨宮國風

八、二五 長唄 勸進帳（東京） 唄 松永和風 外 同 松永和十郎 同 松永和之助 三味線 杵屋勝太郎 同 杵屋勝東治 上調子 杵屋勝吉治 笛 梅屋竹次 小鼓 梅屋勘兵衛 大鼓 梅屋正兵衛 小鼓 梅屋金太郎 同 梅屋勝嗣 大鼓 梅屋勝吉

八、五五 浪花節（大阪） 大雅堂墨繪の富士 宮川松安

九、三〇 時報（東京）告知事項、氣象通報、番組豫告（新京）

一〇、〇〇 管絃樂（哈爾濱） MTFY サロンオーケストラ 指揮 シュワイコフスキー
一、オペラ「ウイリアムテル」よりの前奏曲 ロッシーニ作曲
二、春「ワルツ」 ワルドトイフェル作曲
三、オペラ「カヴァレリアルスティカーナ」より拔萃曲 マスカーニ作曲

一〇、三〇 北滿の時間（哈爾濱）

あすの番組

朝

七、三〇 聖訓謹話（東京）神武天皇皇都經營の詔（二） 文學博士 植木直一郎

八、一〇 氣象通報・入港船のお知らせ（大連）

九、三〇 經濟市況（東京）

一〇、四〇 經濟市況（大連・新京）

一一、三五 經濟市況（大連）

一一、四〇 經濟市況（東京）

一一、五九 時報（東京）

晝

〇、〇五 お晝の演藝
一、新箏曲 春は包ふ 尺八 鹽田芦風 箏 鹽田幾子
二、新尺八樂 櫻月夜 尺八 鹽田芦風 箏 鹽田幾子
三、箏曲 根曳の松 箏 宮森祥惠 三絃・唄 鹽田幾子 尺八 鹽田芦風

〇、四〇 ニュース（東京・新京）

一、〇〇 經濟市況（大連・新京）

三、五〇 經濟市況（東京）

四、〇〇 ニュース（東京・新京）

五、二〇 ニュース（鮮語） 引續き 映畫物語（鮮語） 江河街の秘密 李相進

六、〇〇 子供の時間（大阪） 童話劇 田家雪 童心座

夜

六、二〇 コドモの新聞（東京）

六、二五 講演 新刑法の公布に際して 司法部刑事司長 飯塚敏夫

七、〇〇 ニュース（東京） ニュース・告知事項・番組豫告（新京）

七、三〇 獅子神樂（名古屋） 三重縣一宮有志

七、五五 常磐津（東京） 釣女 浄瑠璃 常磐津松尾太夫 外 三味線 常磐津文字兵衛 外

八、二五 ヴァイオリン獨奏（東京） 安藤幸子 伴奏 萩原英一 協奏曲 第五 イ短調 ヴューターン作曲

八、五〇 歌謠物語（東京） 其の前夜 江戸川蘭子

九、三〇 時報・ニュース（東京） ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）

一〇、〇〇 トーキー中繼―豐樂劇場より― 續エノケンの千萬長者

一〇、三〇 北滿の時間（哈爾濱）